

熊本高等専門学校人研究倫理審査委員会議事要旨

日 時 令和7年6月16日(月) 13:00~14:05
場 所 熊本キャンパス：中会議室、八代キャンパス：大会議室
出席者 (熊本キャンパス) 光永委員長、柴里委員、葉山委員、清永委員
(八代キャンパス) 田中(禎)委員、村山委員
欠席者 田中(裕)委員、永野委員
申請者 大塚教授、合志教授、新谷准教授

議 事

議題1

「振動提示型空間認識デバイスの開発」における倫理審査

大塚教授より、申請書及び同意書(案)に基づき本研究の説明がなされた。なお申請書4(4)“ドライブシュミレータを用いた運転模擬実験により行う。”は今回の申請とは関係ないため“模擬実験により評価する。”に修正するとの説明があった。(修正版を再提出)

説明後、以下の質疑応答等がなされた。

・同意書(案)5の賠償責任保険は第三者も対象となることが確認された。大塚教授より今回は熊本高専で行う実験を対象とする申請であり、長岡技科大で行う実験で発生した事案については長岡技科大で対応してもらうとの説明があった。

・熊本高専での倫理審査承認後、長岡技科大での倫理審査において申請書等同じフォーマットで受審し内容の修正が必要となった場合に委員会の対応について意見交換があった。大塚教授より長岡技科大でも先方の先生が同じフォーマットをベースに受審予定であるが、倫理審査はそれぞれ分離して受審する旨の説明があった。

・申請書4(8)において盲学校教員は対象外であるが、今回まとめて審査することが可能かの質問に対し、実験計画のタイムスケジュール上厳しいと思われるため今のところ考えていないとの回答があった。

以上の審議の結果、次のとおり判定した。その他、申請書2ページ1行目“Beest”の綴りを“Best”に修正する。(修正版を再提出)

判定 **【条件付き承認】**

条件 ①熊本高専の教員と学生が主体的に行う実験に限り倫理審査の適用範囲とする。

議題2

「NIRS を利用した e-Sports 時における脳活動の理解に関する研究」における倫理審査

議題4

「振動椅子を用いた感性向上効果の研究」における倫理審査

合志教授より、資料2及び4の申請書及び同意書(案)に基づき研究の説明がなされた。
説明後、以下の質疑応答等がなされた。

・議題2について倫理的にどのような問題があるかの質問に対し、生機能を測定するため審査が必要である。なお測定により個人的に不都合な情報までは分からない旨の説明があった。議題4について装置によりストレス等を与えることがあるのか、振動の度合いはどれくらいかという質問に対し、前後左右に最大10度の傾斜であり、養護学校で使用された実績もあるため安全面で問題はないとの回答があった。

・議題2の申請書4(10)に関して高齢者が対象とのことで意思決定能力に問題があるかないかをどう判断するのかという質問に対し、NPOが実施しているe-Sportsに参加している方を対象としており都度年齢層の確認はとった上で実施しているとの回答があった。

・議題2、4について対象者に協力いただく時間は1回あたりどれくらいかの質問に対し、議題2は装着時間を含め約5分、議題4は振動時間が約30秒との回答があった。

以上の審議の結果、次のとおり判定した。

判定 【条件付き承認】

条件 ①議題2及び4の申請書4(4)に1回あたりの時間を追記する。

議題3

「脳内血流と脳波の関連性の理解に関する研究」における倫理審査

新谷准教授より、申請書及び同意書(案)に基づき本研究の説明がなされた。

説明後、以下の質疑応答等がなされた。

・説明書5「近隣の病院まで搬送します。」について病院への搬送がマストとなるので一旦様子見するなど表現を修正する。説明書のひな型についても文言を再確認して修正しておく。

・1回あたりの時間が30分とのことなので申請書4(4)に追記する。

判定 【条件付き承認】

条件 ①申請書4(4)に1回あたりの時間を追記する。

②説明書5の表現を修正する。

その他委員からの意見

- ・同意書の問い合わせ先、「事務的連絡等」の担当者名をフルネームで記載する。
- ・申請者等の所属を正式名称で記載する。

以上